



初めて経験する日本の祭り

日本の文化を体験

サンブルーノ市中学生訪問団

姉妹都市のアメリカ・サンブルーノ市から中学生8人を含む訪問団員12人が、6月30日～7月9日の10日間にわたり本市を訪れました。滞在中は、市内の一般家庭にホームステイし交流。生け花や茶道を体験したり、成田祇園祭で山車を引いたり、日本の文化に親しみました。



黄色いスイカにびっくり



日本生まれのパークゴルフを楽しむ



大会への意気込みを語る石井選手(中央)

日本代表の一員として

12歳以下世界選手権大会

成田リトルリーグに所属する石井^{ゆうま}友貴さんが、国際野球連盟12歳以下世界選手権大会の日本代表選手に選出されました。この大会は12歳以下の各国代表選手が出場する野球の国際大会で、7月18日～28日に台湾・台北市で開催されました。開催前の7月3日には、小泉市長に出場の報告をし、大会への意気込みや今後の抱負を語りました。

これからはコンビニでも

証明書自動交付サービス

住民基本台帳カード(住基カード)を使った証明書自動交付サービスが開始されたのを記念し7月16日に、市内のコンビニエンスストアでセレモニーが行われました。セレモニー後にマルチコピー機を操作して住民票などを取得した小泉市長は、操作方法の手軽さに、感嘆の声を漏らしていました。このサービスは、全国のセブン-イレブン、ローソン、サークルKサンクスで、午前6時30分から午後11時まで利用できます。



サービス開始を記念してテープカット

香ばしい匂いに誘われて

成田うなぎ祭り

「うなぎのぼりの街・成田」をPRしようと、表参道の飲食店を中心に89店舗が参加する「成田うなぎ祭り」が8月18日まで開催されています。昔ながらのうなぎ料理のほか、スイーツなど、期間限定のメニューも登場。豪華賞品が当たるスタンプラリーも行われています。



炭火で丁寧に焼き上げる



えびがには掛かっているかな

大漁に思わず笑顔

親子えびがにつり教室

家族で自然に親しんでもらおうと「親子えびがにつり教室」が6月29日、下方地先の水路で開かれました。参加したのは14家族37人。参加者は用意された釣りざおに餌のすめを付けると、早速釣り糸を垂らしました。始めは待ち切れずにさおを引き上げて、えびがにを逃がしてしまう子どももいましたが、2時間ほどたつとバケツはえびがにでいっぱい。参加者の1人は「一番大きいのを、家に持って帰って大事に飼うんだ。ほかのは逃がしてあげるんだ」と話していました。



バケツの中には元気なえびがにが



浴衣姿でモデルを務めた親子



本堂の裏手に咲くアジサイ

梅雨の風情を演出

宗吾霊堂紫陽花まつり

約7,000株のアジサイが植えられている宗吾霊堂で、6月9日～30日に「宗吾霊堂紫陽花まつり」が開催されました。期間中の日曜日には、お茶会や農産物の販売、箏・尺八・二胡の演奏などさまざまな催しが行われ、来

場者を楽しませました。また最終日には、今年で最後となる「親子モデル撮影会」が行われました。参加したカメラマンたちは、3組の浴衣姿の親子モデルにレンズを向け、夢中でシャッターを切っていました。